

⑦ 第45回全国高等学校柔道選手権大会大阪府予選会 兼
 第64回近畿高等学校柔道新人大会大阪府予選会 兼
 第72回大阪高等学校新人柔道大会 要項

【女子の部】

1. 大会日時

- (1) 団体試合 令和4(2022)年11月12日(土)午前10時00分
 (2) 個人試合 令和4(2022)年11月13日(日)午前10時00分
 (3) 計量日時 【選手】令和4(2022)年 **11月12日(土)午前9時10分～9時45分**
※ 団体・個人試合とも、計量を実施する。
 (4) 受付時間 【顧問】9時10分～9時45分(各試合当日)
 (5) 審判・監督会議 9時50分～(各試合当日)

2. 大会会場	講道館大阪(大阪メトロ中央線「深江橋駅」北へ約200m)
3. 申込締切日	令和4(2022)年10月19日(水) 郵送、メール共、正午まで 必着 のこと。 ※申込締切日をすぎたものについては一切受付をしない。
4. 申込先	※ 申込用紙はHP(http://highschool.osakajudo.info/)より ダウンロードして作成(パスワード「2222」(半角英数))し、郵送およびメールに添付し 送信すること。 ※ 郵送の方法は書留か簡易書留とし、申込書類のキリトリ線の箇所必ず切り取ること。 郵送：〒583-0037 藤井寺市津堂3-516 TEL 072-939-7750 大阪府立 藤井寺高等学校 瀬川 綾子 先生 (「第72回新人戦申込書在中 合計●枚」と明記すること。) e-mail: mail@highschool.osakajudo.info 注) 送信時、ファイル名は[学校番号 + 学校名 + F]に変更して下さい。
5. 抽選	団体試合・個人試合ともに、常任委員会にて責任抽選を行う。抽選結果はホームページに 掲載する
6. その他	参加料・墨書メンバー表は、試合当日(顧問受付時)に持参すること。

7. 参加資格【必ず、大会申込締切日までに2022年度の全柔連登録を済ませておくこと。】

- (1) 年齢について【**全日制第3学年生徒は不可**】
 イ. 平成16年(2004年)4月2日以降に生まれた者で、令和4年(2022年)4月以前当該学校の在籍者であること。同一学年での出場は1回限りとする。
 ロ. 特例として、上記イに定める年齢制限は、中国残留日本人孤児及びその子女について適用しない。
 (2) 転入生について
 転入生は、大会申込締切日までに転入後6ヶ月を経過し、全柔連登録をしていなければ出場できない(外国人留学生もこれに準じ、かつ、団体試合の出場枠は1名とする)。但し、一家転住やその他特別の理由に伴う転校がある時は、部長が承認すれば出場できる。
 (3) 参加選手は本大会に参加することを学校長より承認されたものであること。
 (4) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

8. 参加制限

- (1) 個人試合
 イ. 体重別試合(7階級) 48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・70kg級・78kg級・78kg超級
 ロ. 人数の参加制限はなし。
 ハ. 選手は個人試合、団体試合を兼ねることができる。**但し、同じ階級とする。**
 (2) 団体試合
 イ. 1校1チーム(監督1名、選手3名、補欠1名、計5名)
 ロ. 2名以上の登録選手がいれば、出場を認める。
 ハ. 全日制と定時制を混えないこと。

- ニ. 他校との合併による混合チームでの参加は認めない（但し、統廃合校については例外とする）。
- ホ. 選手の配列（オーダー）については、**体重区分の上限を、先鋒は 52kg、中堅は 63kg、大将は無差別とする。但し、体重区分の下限を設けない。**
- ヘ. 体重区分については、**補欠起用の際も同様**とする。

9. 試合方法

- (1) 審判規定は、個人・団体試合とも国際柔道連盟試合審判規定で行う。
- (2) 個人試合
 - イ. トーナメント法またはリーグ戦による。
 - ロ. 試合時間は3分間とする。「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」または「僅差」（「指導」差2）以上とする。勝敗が決しない場合はゴールデンスコアを導入する。
- (3) 団体試合
 - イ. トーナメント点取法により行う。
 - ロ. 試合時間は3分間とする。「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」または「僅差」（「指導」差2）以上とする。
 - ハ. 勝敗が同数の場合は内容によってチームの勝敗を判定する。
 - ニ. チームの勝敗が決しない場合は、代表戦（ゴールデンスコア）を引分けの試合より抽選にて行う。引分けの試合がない場合は全国選手権大会に準ずる。

10. 諸大会の出場

- (1) 団体試合 近畿大会の出場 上位 10 校 全国選手権大会の出場 優勝校
- (2) 個人試合 近畿大会の出場 各階級上位 4 名
 全国選手権大会の出場 48kg 級・52kg 級・57kg 級・63kg 級の優勝者

11. 参加上の注意

- (1) 選手変更
 - イ. 個人試合については、試合申込後、選手の変更は認めない。団体試合については、試合申込後、選手の配列（オーダー）の変更は認めない。
 - ロ. 団体試合申込後、選手が何らかの理由により出場できない場合、1名に限り選手の変更を認める。但し、正選手が出場できない場合はあらかじめ登録していた補欠選手から出場させるものとする。（HPよりプリントアウトし作成した「**登録選手変更届**」を、大会当日受付時に、本部に提出すること。）
 - ハ. 正選手に変更がある場合は、補欠をその箇所に出場させ、それ以外のオーダーの変更は認めない。尚、一度変更し、正選手から外れた選手については試合に出場できない。（選手の変更は、試合当日、本部にて扱う。但し、そのチームの試合開始後の変更は認めない。）
- (2) 書類について（**キリトリ線の箇所で必ず切り取ること。**）
 - イ. 申込書類不備の場合は、一切受付をしないため、大会参加不可となるので十分注意すること。
 - ロ. **墨書メンバー表**（模造紙）は大会当日必ず提出すること。尚、ペン書き・マジック書き・感熱紙は不可。サイズは下記に示すとおり。
- (3) 付き添いについて
引率責任者（顧問）のいない学校は大会参加を認めない。大会受付は個人・団体とも引率責任者（顧問）が申し出ること。試合時不在の場合は不戦負とする。引率責任者は当該校の職員であること。
- (4) その他
 - イ. 開会式に遅刻したチーム及び選手は、上記各項の条件に適格であっても大会出場を認めない場合がある。
 - ロ. 団体試合は、府柔連**昇段試合の公認点**〔16 頁～17 頁参照〕となるので、必ず、府柔連**成績カード**を（既に持っている者は）**持参**すること。
 - ハ. 靴袋を用意すること。

【男子の部】 全国高体連の動向により、大会要項が大きく変更する場合があります

1. 大会日時

- (1) 団体試合 令和4(2022)年11月26日(土) 午前10時00分
- (2) 個人試合 令和4(2022)年11月27日(日) 午前10時00分
- (3) 計量日時 **【選手】** 令和4(2022)年11月27日(日) 午前9時10分～9時45分
- (4) 受付時間 **【顧問】** 9時10分～9時45分(各試合当日)
- (5) 審判・監督会議 9時50分～(各試合当日)

2. 大会会場	堺市立大浜体育館(南海本線「堺駅」西へ約1km)
3. 申込締切日	令和4(2022)年10月19日(水) 郵送、メール共、正午まで 必着 のこと。 ※申込締切日をすぎたものについては一切受付をしない。
4. 申込先	※ 申込用紙はHP (http://highschool.osakajudo.info/) より ダウンロードして作成 〈パスワード「2222」(半角英数)〉 し、郵送およびメールに添付し送信すること。 ※ 郵送の方法は 書留 か 簡易書留 とし、申込書類のキリトリ線の箇所 で必ず切り取る こと。 郵送：〒584-0038 富田林市錦ヶ丘町1-15 TEL 0721-23-2081 大阪府立 河南高等学校 錦 信好 先生 (「第72回新人戦申込書在中 合計●枚」と明記すること。) e-mail : mail@highschool.osakajudo.info 注) 送信時、ファイル名は[学校番号 + 学校名 + M]に変更して下さい。
5. 抽選	団体試合・個人試合ともに、常任委員会にて責任抽選を行う。抽選結果はホームページに掲載する
6. その他	参加料・墨書メンバー表は、試合当日(顧問受付時)に持参すること。

7. 参加資格 **【必ず、大会申込締切日までに2022年度の全柔連登録を済ませておくこと。】**

(1) 年齢について **【全日制第3学年生徒は不可】**

- イ. 平成16年(2004年)4月2日以降に生まれた者で、令和4年(2022年)4月以前当該学校の在籍者であること。同一学年での出場は1回限りとする。
- ロ. 特例として、上記イに定める年齢制限は、中国残留日本人孤児及びその子女について適用しない。

(2) 転入生について

転入生は、大会申込締切日までに転入後6ヶ月を経過し、全柔連登録をしていなければ出場できない(外国人留学生もこれに準じ、かつ、団体試合の出場枠は1名とする)。但し、一家転住やその他特別の理由に伴う転校がある時は、部長が承認すれば出場できる。

- (3) 参加選手は本大会に参加することを学校長より承認されたものであること。
- (4) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

8. 参加制限

(1) 個人試合

- イ. 体重別試合(7階級) 60kg級・66kg級・73kg級・81kg級・90kg級・100kg級・100kg超級
- ロ. 参加人数について
参加人数については、**有段者は全階級フリー参加、段外者は各階級1校2名まで**とする。但し、高体連柔道部強化選手は**特別枠用の入力シート・用紙**を用いて、**備考欄に内容を記して申し込むこと。**
- ハ. 選手は個人試合、団体試合を兼ねることができる。

(2) 団体試合

- イ. 1校につき1チームを、I部またはII部に出場させることができる。
- ロ. I部(監督1名、選手7名 計8名) 但し、3名以上の登録選手がいれば出場を認める。
- ハ. II部(監督1名、選手3名、補欠1名、計5名) 但し、2名以上の登録選手がいれば出場を認める。
- ニ. I部については、他校との合併による合同チームでの参加は認めない(但し、統廃合校は例外とする)。
II部については、選手が1名だけの各学校(2～3校)でのみ合同チームの参加を認める。(19ページ

参照)

ホ. 全日制と定時制・通信制を混ぜないこと。

9. 試合方法

(1) 審判規定は、個人・団体試合とも国際柔道連盟試合審判規定で行う。

(2) 個人試合

イ. トーナメント法による。

ロ. 試合時間は3分間とする。「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」または「僅差」(「指導」差2)以上とする。勝敗が決しない場合はゴールデンスコアを導入する。

(3) 団体試合

イ. I部はトーナメント勝抜法により行い、勝ち残った上位4チームはリーグ戦とする。II部はトーナメント点取法で行う。

ロ. 試合時間は3分間とする。「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」または「僅差」(「指導」差2)以上とする。

ハ. 試合は、I部は各チーム5名で行い、試合毎に選手の配列(オーダー)を変えることができる。II部は各チーム3名で行う。

ニ. I部の試合において、大将同士が引き分けの場合、代表戦を1回行う。

ホ. 選手の配列(オーダー)については、I・II部とも段位に関係なく自由とする。但し、II部で2人のチーム同士の試合については後詰めで行う。

チ. リーグ戦の順位の設定は次による。

① 大将戦が引き分けた場合、その試合は引き分けとする。

② 4チームの勝率が同率および上位3チームが同率の場合は、各校代表者1名によるリーグ戦を行い、順位を決定する。

③ 2校の勝率が同率であと1校を決定する場合は、各校1名の代表戦を1回行い、決定する。

④ 代表戦で内容が同じ場合は、ゴールデンスコアを導入する。

10. 諸大会の出場

(1) 団体試合(I部) 近畿大会の出場 上位10校 全国選手権大会の出場 上位2校

(2) 個人試合 近畿大会の出場 各階級上位4名

全国選手権の出場 60kg級・66kg級・73kg級・81kg級の優勝者

全国選手権無差別級予選会の出場 90kg級・100kg級・100kg超級の上位4名

11. 参加上の注意

(1) 選手変更

イ. 個人試合については、試合申込後、選手の変更は認めない。

ロ. 団体試合申込後、選手が何らかの理由により出場できない場合、1名に限り選手の変更を認める。但し、正選手が出場できない場合はあらかじめ登録していた補欠選手から出場させるものとする。(HPよりプリントアウトし作成した「登録選手変更届」を、大会当日受付時に、本部に提出すること。)

(2) 書類について(キリトリ線の箇所**必ず**切り取ること。)

イ. 申込書類不備の場合は、一切受付をしないため、大会参加不可となるので十分注意すること。

ロ. 墨書メンバー表は大会当日必ず提出すること。尚、ペン書き・マジック書き・感熱紙は不可。(必ず、**I部は厚紙を、II部は模造紙を使用すること。**)サイズは下記に示すとおり。

(3) 付き添いについて

引率責任者(顧問)のいない学校は大会参加を認めない。大会受付は、個人・団体I部については、引率責任者(顧問)が申し出ること。団体II部については、合併チームの全ての引率責任者(顧問)が申し出ること。試合時に不在の場合は不戦負とする。引率責任者(顧問)は当該校の職員であること。

(4) その他

イ. 開会式に遅刻したチーム及び選手は、上記各項の条件に適合であっても大会出場を認めない場合がある。

ロ. **団体試合(I部・II部とも)は、府柔連昇段試合の公認点[16頁~17頁参照]となるので、必ず、府柔連成績カードを(既に持っている者は)持参すること。**

ハ. 靴袋を用意すること。